

「今後の県営住宅の在り方」に係る検討経緯

【第 1 回住宅審議会】 令和 7 年 7 月 29 日 (火) 10:00~12:00

主な議事	県営住宅の状況と課題について
まとめ	各委員の観点から、意見が示された。

【第 1 回小委員会】 令和 7 年 8 月 26 日 (火) 15:00~17:00

出席委員	山口委員長、檜谷副委員長、松原委員、丸山委員、中尾委員
主な議事	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅審議会での意見と今後の対応 ・課題と目指すべき方向性
まとめ	各委員の観点から、改定に向けた意見が示された。
主な意見	<p>1 住宅審議会での意見と今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県営住宅及び市町営住宅の空き家数について、政策空き家を含めず、実際に使用できる空き家の数値で検討すべき。 ・低所得者数や外国人労働者数等、可能な限り最新のデータを用いるべき。 ・高齢化等により自治会が弱体化している。福祉施設の併設によりサポーターを養成するなどの検討が必要 ・阪神・淡路大震災後に建設したコレクティブハウスの評価を示してほしい。 <p>2 課題と目指すべき方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方向性について、より具体性を持った表現としてほしい。 ・地域再生における役割や地域活性化に結びつくような視点を検討してほしい。 ・地域のまちづくりとの連携について、地域ごとに需要は異なるため、市町との連携や地域の NPO との連携等具体的に記載してほしい。

【第 2 回小委員会】 令和 7 年 12 月 23 日 (火) 15:00~17:00

出席委員	山口委員長、檜谷副委員長、松原委員、丸山委員
主な議事	<p>目標管理戸数</p> <p>課題と目指すべき方向</p>
総括	県営住宅の管理戸数を考える上での各地域の管理戸数に対する考え方について理解を得た。具体の目標管理戸数については次回事務局が提示。
主な意見	<p>1 目標管理戸数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理戸数の考え方はおおむね支障ないが、借上住宅の利用や居住支援団体への賃借など、具体的な内容については検討を進めること。

	<ul style="list-style-type: none"> ・既存民間賃貸住宅の借上げを検討する場合、公営住宅の最低居住水準を満たしているか等確認する必要がある。 ・居住支援団体等の NPO に住宅を賃貸すること等も考えてほしい。 <p>2 目指すべき方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの 5 つの方向性を 4 つにまとめることは問題ない。 ・「住民活動」に関する内容を明記してほしい。 ・コミュニティーサポーター制度は画期的であるのでぜひ取り入れてほしい
--	--

【第 3 回小委員会】 令和 8 年 3 月 18 日（水） 15:00～17:00

出席委員	山口委員長、檜谷副委員長、松原委員
主な議事	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の設定 ・改定計画素案の検証
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・目標管理戸数 43,000 戸について理解を得た。 ・県営住宅の整備・管理方針において、取組施策の入れ替えを提案
主な意見	<p>1 目標管理戸数・入居率について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰などの社会状況により、家賃価格上昇が原因で新たな住宅困窮者が生じる可能性を踏まえた目標管理戸数の推計が今後必要 ・地域別の状況だけでなく、地域特性を踏まえた管理戸数の検討ができればなおよい。 <p>2 4 つの方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自治会役員立候補者を対象とした募集」は、実効性やどれだけ効果があったか自治会や入居者アンケートを取り検証する。 ・入居率が高い住宅の建替え等においてセーフティーネット住宅等を利用した仮移転を検討するとのことあるが、セーフティーネット住宅以外の民間賃貸住宅も仮移転先として利用していくことを検討 ・その他、4 つの方向性内の各取組施策をより適する箇所への入れ替えの提案